



好きやねん湖東

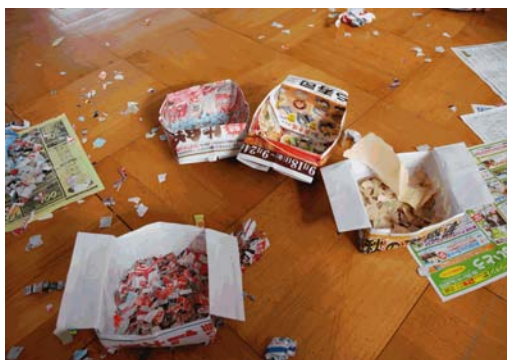
湖東地区

まちづくり情報誌

第55号

タイトル 「Possible ~無限大の可能性~」

2009年度の湖東中学校文化祭の巨大貼絵 全校制作の様子です。地域に縁のある 西堀 峯夫さんや 福田 淳史さん（大沢町）にも、ご協力いただきました。（Hayashi）



（右から4人目の男性は、西堀榮三郎さんの三男の峯夫さん）



猪田 裕司 くん (12歳・池庄町)

中学生になったら勉強と部活を頑張りたいです。



新年うまれ集台!!



西澤 美佳 さん (24歳・平柳町)

仕事もプライベートも充実した1年にしたいです。
介護の資格をたくさん取れるように、日々、勉強したいです (*^_^*)



笠井 俊枝 さん (36歳・湖東ニュータウン)

親バカな働くママです。
いつまでも子どもと一緒に走り回れる
元気なママ目指して頑張ります☆



西澤 一志 さん (48歳・読合堂町)

今年は、当たり年なので充実した一年を過ごしたいです。



垣谷 猛 さん (60歳・大沢町)

『晴耕雨読』
定年退職後、農業一直線
何でもやれる時にしなあかん!



青西 義太郎 さん (72歳・中一色町)

この1年健康で無事に過ごしたいと思っています。



前川 渡 さん (84歳・勝堂町)

今年も感謝の気持ちを忘れず、地域社会に少しでも貢献できるように、健康に暮らしたいと思います。



辰己 大作 さん (96歳・小田町)

今日まで元気に過ごさせていただいたことに感謝し、今年も何事もなく過ごさせて欲しいです。

全国でも指折りの社寺建築家として活躍されている今在家町の木澤源平さん(75歳)が、長年にわたる職業訓練の功労が認められて、平成21年秋の叙勲で旭日双光章を受けられました。

木澤さんは、昔から伝統的な建築関係の仕事に携わる人が多い今在家町の、江戸時代中期から続く宮大工の家に生まれ、お父さんについて修業をされました。棟梁として最初に取り組んだ仕事が、昭和40年からの押立神社拝殿の改築で、この時指導を受けた京都の建築家・故大森健二工学博士にその後も師事して、各地の社寺建築を手がけるようになりました。

比叡山延暦寺の東塔の再建や、京都清水寺の有名な舞台の修復などをはじめ、200棟以上の有名な社寺の修復・新築工事を行い、社寺建築の「木澤工務店」は全国的によく知られるようになりました。

木澤さんは、30年前に県下で初めて社内に高等職業訓練校を開設し、滋賀県職業能力開発協会では長年理事を勤め、現在は副会長として建築技術者の育成に努力しておられます。最近では、彦根工業高校、八幡工業高校での建築科の技能検定講師として、全国ものづくり大会に近畿代表としての選手を送り出すなどの成果を上げておられます。

また、正倉院で有名な校倉造の工法を、国内産木材に生かす『新校倉造の木造建造物』の考案で、昨年には特許も取得されています。

「伝統工法の本質を失わずに、木の文化、職人文化を守りたい」といわれる木澤さんの、若手技術者育成への情熱は、まだまだ続くようです。(野村)



滋賀県職業能力開発協会の設立30周年記念式典（平成21年11月）での木澤源平さん。

右は「今年の漢字」で有名な清水寺・清水清範貫主の揮毫で「技」

自治会紹介 勝堂町



勝堂町では、最近少なくなった「にごろ鮒」の卵から「小鮒」にかえるまでの養殖に子どもたちと一緒に取り組んだことを紹介させていただきます。

県指導員の方を招いて、子ども会と一緒に勉強会を開催し、今回は子どもたちが田植えをした通学道路横の田んぼを使用することとしました。除草剤の散布する時期と量を調整し、生物が生まれる環境作りを行いました。また、産卵しやすいための“しょろ”の皮を用意し、そこへオスメスの「にごろ鮒」を放ちました。

その後、色々とハブニングもありましたが、魚を川に戻す時期がきました。大騒ぎしながら捕まえた魚を見てみると、「鮒」は親指程度に育ち、外の川からもモロコが入っているのが見付き、その付近にはいなかったザリガニやタニシなども見付き、子どもたちはみんな大はしゃぎし、我々大人たちは、やんちゃ坊主時代にタイムスリップしたような感じでした。

これからも続けられたらと思っております。

(自治会長 廣田 源昭)

まち協だより



☆子育て支援部会

12月3日、第3回目の学校等支援プロジェクト会議を開催しました。

パンフレットの内容確認、ボランティアをお願いするに当たって、細かい問題点などについて話し合いました。

12月8日には、学校支援ボランティアに取り組んでいる湖南省立岩根小学校に話を聞きに行きました。

次回の会議で報告を行い、しっかりした内容になるようにしていきたいと考えています。

☆明るい農業・農村プロジェクト

“プランターでイチゴを育てよう”

【マスタ園芸からの一言アドバイス】

プランターは、雪が被ってもそのままに、過保護にしない。2月になれば最後の追肥をあげてください。

この時期に間違えて咲いた花は摘み取ってください。

【お詫びと訂正】

第54号の2ページ（20歳のつどい実行委員の紹介）の記事に誤りがございました。

ご訂正をお願いし、併せましてご関係の皆様にお詫び申し上げます。

(誤) 久保田 篤史 → (正) 久保出 篤史

この人を紹介

よしのり
廣瀬 吉徳 さん (平柳町)

味咲館・柳家

今回は、お食事処「柳家」の大將、廣瀬 吉徳さんをご紹介します。

廣瀬さんは、調理師学校を卒業後、大津の「つる家」で3年、その後、京都の祇園寿司で2年、再び「つる家」に戻り2年の修行を経て、出身地の平柳町に帰郷した。

当初は、祖父の跡を継ぐ形で、仕出し屋をしていたが、13年前、湖東味咲館に会席料理を中心とした、お食事処「柳家」を開店した。

「ここに店を開業してからは、自由がほとんどなくなりました(´_`)」と、苦笑いの廣瀬さん。

朝7時に市場へ行き、帰ったら仕込みをして開店。「昼の時間帯は、どうしても集中してしまうので、目の回るような忙しさです」と話す。その後、わずかな休憩時間を利用して、夜の仕込みを行い、ようやく一日の営業を終え帰宅し、

「ほっ」と一息ついたら、22時を過ぎている毎日という。

店内を見ると、数多くの賞状が目に入る。「色々と表彰をさせていただいていますが、その反面、たくさんの役も頼まれますよ」と、滋賀県ふく調理師会理事をはじめ、ふく調理師免許審査員など、5つの役職を聞いて驚く。また、「店の米も自分の田圃で収穫したものを使用しているの、田植機やトラクターにも乗っています」と、超多忙な人である。

“趣味は?”と尋ねると、「ボーリング、魚釣り。冬は、スノーボードにも行きます。食べ歩きや温泉巡りも大好きです。ただ時間がなくて、なかなか行けません」と、少し残念そう。

しかし、2年前に、京都の石長松菊園で修行をして戻ってきた息子といっしょに包丁を握っている立ち姿は、忙しい中にも、日々充実しているといった感じであった。

最後に、“おすすめ料理は?”と尋ねると、「やはり、腕の見せどころの懐石料理(4200円〜)かな。ぜひ食べに来て下さい」とのこと。

もうすぐ節分。節分の巻き寿司もされるので、ご希望の方は、45-0397までご連絡を。



豊さん

吉徳さん



(By Hiroko)

ぐるっと友達の輪!

片岡 孝二さん & 享子さん (読合堂町)

「11月に、結婚しました」と、微笑む二人は、片岡 孝二さんと享子さんです。

「同じパティシエとして知り合い、お互いに自然と惹かれました」と、二人が結ばれたきっかけを話す。

現在、孝二さんは、近江八幡日牟禮ヴィレッジ、享子さんは、守山玻璃絵館で、パティシエ(注:パティシエとは、フランス語でお菓子職人という意味です)として、皆さんの大好きな、バームクーヘン、ショートケーキなどを心込めて作っている。

最近、自らの技術を高めるため、国内で最大規模の洋菓子コンクール「ジャパン・ケーキ・ショー東京」にも出品し、

孝二さんは、2008年の“小型工芸菓子部門”で、銀賞を受賞。

享子さんも、2006年の“マジパン仕上げデコレーションケーキ部門”で、銅賞を受賞するなど才能あふれる二人である。

この道に入ったきっかけを問うと、孝二さんは、「料理人になりたくて、調理師専門学校を卒業しましたが、なぜか、パティシエになってしまった」というが、彼の作品を見る限り、眠っていた才能が開花されたように感じる。

一方、享子さんは、小さい頃からの夢である「お菓子のパティシエになりたい」を諦めないで実現させた。

二人は、「これからも、仕事の良き相談相手、またライバルとして、グランプリの受賞をめざします」と、今後の抱負を話す。

追伸:パティシエの新婚さんは、日常生活も甘〜いのでしょうか。(By K. N)



孝二さんの飴細工作品

<編集・発行> 湖東地区まちづくり協議会
(事務局)

〒527-0113 東近江市池庄町505番地

東近江市 湖東支所 地域振興課内

TEL 45-3702 FAX 45-1570 IP 050-5801-3702

http://members.e-omi.ne.jp/suki-koto/

広報部ブログ http://machikyo-koto.jugem.jp/

<<お便りはこちらまで>> suki-koto@e-omi.ne.jp



クイズだよ!

<問題> 今年の干支は、何ですか?

1 ライオン

2 トラ

正解者には、「柳家」から「鍋焼きうどん1000円相当」を5名の方にプレゼントします。

応募方法 官製はがき、FAXまたはメールで、答えの番号と、あなたの住所、氏名、電話番号、感想をご記入の上事務局までお送り下さい。

締め切り: 2月10日(水) 必着